

登録コード	UAC12500	開講年度	2026			
授業題目	文化情報論研究				担当教員	菊池 聡
					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・2時限	
				授業形態	講義	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				認知心理学や社会心理学を基盤とした批判的思考のファンクショナル・アプローチの研究方法を身につけ、現代の社会の諸現象を批判的に分析することができるようになる。	
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				教室内だけでなく、現実の社会問題へ批判的思考の応用を広げることができるようになる。	
	【人間文化学】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				批判的思考の技法をさまざまな学問や社会領域に広げ、多面的に情報を評価できるようになる。	
(2)授業の概要	現代の社会において、実証的なエビデンスを伴って主張されるさまざまな言説の妥当性を検証し、知識の確実性を評価する科学的懐疑論(scientific skepticism)の考え方を習得する。その対象として疑似科学(pseudoscience)や超常信念(paranormal belief)などの非合理的思考とその主張に着目し、広い視野に立って現代の社会を流れる情報について主体的に考察する重要なスキルとしての批判的思考(critical thinking)の知識と技術を向上させていく。これらの目標のもとに、科学的懐疑主義の基本的な文献を読み解き、そこから自分の問題意識と広い視野をもって解決すべき課題を設定し、学生自ら考察を深めその回答を見いだしていく。					
(3)授業計画	授業計画 第1回：批判的思考(Critical thinking)と疑似科学 第2回：Why Do We Need Critical Thinking. 第3回：What Is Science? 第4回：What Is Pseudoscience? 第5回：What Is Critical Thinking? 第6回：Why Can't We Trust Our Brains? 第7回：Aliens, Abductions, and UFOs. 第8回：Psychic Powers and Talking to the Dead. 第9回：Unknown Animals and Cryptozoology. 第10回：Evaluating Health Claims in Alternative Medicine. 第11回：Alternative Medicine for Physical Health. 第12回：Pseudoscience in Mental Health. 第13回：The Relationship Between Science and Religion. 第14回：Conclusions and Recommendations. 第15回：現代社会における懐疑主義 期末試験の有無： 無					
(4)成績評価の方法	授業の中でのディスカッション参加(50%)と、レポート課題(50%)で評価する。					
(5)成績評価の基準	批判的思考と科学的懐疑主義の考え方が十全に理解でき、現実の社会的課題に応用して新たな知見に結びつけることができれば『卓越している』と評価する。科学的懐疑主義の考え方が現実の社会的課題の問題解決に結びつくという観点から理解できれば『かなり上にある』、科学的懐疑主義の考え方の基礎事項を習得し、それが現実の社会的課題と結びつけて考えることができれば『その水準にある』と評価する					
(6)事前事後学習の内容	受講生は毎回テキストの該当箇所を抄訳してまとめて事前に提出し、それをもとに授業ではディスカッションを行う。					
(7)履修上の注意	本授業参加にあたっては、推測統計学(統計的検定や多変量解析)の基礎的能力を備えていることが必要。具体的には、公認心理師もしくは社会調査士に相当する学部カリキュラムを習得していること。ただし資格の有無は問わない。					
(8)質問,相談への対応	信州大学のLMSであるeALPS上に、質問や相談への対応システム(バーチャルオフィスアワー)を設定してこれを用いる。これで対応できない相談等は直接対応するので、eALPSのメールシステムから直接教員へメールし、アポイントメントを取ること。					
【教科書】	Lack,C.W.& Rousseau,J.(2016). Critical Thinking, Science, and Pseudoscience: Why We Can't Trust Our Brains , Springer. ただし、授業開始時点で本授業に適した内容の最新の文献が出版されている場合、教科書を変更するので授業開始時に相談すること。					
【参考書】	キャロル,R.T.(2008). 懐疑論者の事典(上・下) 楽工社 シック,T.J.(2004). 『クリティカルシンキング 不思議現象編』北大路書房					